

日本音響家協会 SOUND A&T 北陸版 情報誌

141号

令和5年9月20日

奇数月発行

# 音響の本りぼん

編集担当

藤井紗綾子(富山)  
堀 裕一(石川)  
西島 理(福井)

編集・発行人 高野 仁 富山市舟橋北町7-1  
(富山県教育文化会館)  
電話・FAX 076-441-8635 jin65064@gmail.com

## 北陸支部残暑払い懇親会開催

堀 裕一

8月22日(火)北陸支部運営委員会終了後に、富山県高岡市の「焼鳥 甚九郎」にて日本音響家協会北陸支部の残暑払い懇親会が開催されました。やきとり屋さんのコース宴会と聞いていたので、串盛り合わせを中心としたコース料理だと思っていたところ、会場に着くと宴席に牛鍋が鎮座ましましており、思いがけない豪華さに心を奪われました。当日は山本前北陸支部長の日本音響家協会賞受賞祝いと、鹿野会員の8の字巻きグランプリ優勝祝賀会もかねておりましたが、あいにくご両人とも都合が合わず、主役不在となってしまいましたが、美味しい料理に救われる形となりました。串物は出来たてが1種類ずつ提供され、最初から最後まで肉料理が出続ける、まさに肉三昧の素敵な宴会となりました。幹事様ありがとうございました。懇親会参加者は11名で、運営委員以外に高畑会員、大野会員の参加もあり楽しい懇親会となりました。次回は忘年会を予定しております。皆様のご参加をお待ちしております。

(金沢歌劇座)





### 5GHz 統合型 デジタルワイヤレスインターカムシステム

# GENIE

INTERCOM





ライセンス・フリーの5GHz UNII bandを使用し、干渉回避技術により、明瞭度の高いコミュニケーション環境を提供します



ビーテック株式会社 〒130-0011 東京都墨田区石原4-25-12-5F TEL 03-6661-3801 <https://beetech-inc.com>



## 『最近の有線LAN規格』

西畠 理

最近、「2.5GbE」「5GbE」と呼ばれるネットワークの普及が進んでいます。これは「マルチギガビット・イーサネット」とも呼ばれ、「2.5GBASE-T」や「5GBASE-T」という規格で標準化されています。一般家庭や企業、われわれが仕事で使うネットワークオーディオ（Dante）等で用いるケーブルの規格は今まではギガビット・イーサネットとも呼ばれる1000BASE-T（1Gbps）の規格で普及していましたが、ここでさらに新たな規格が登場してきたわけです。ここでこの新たな規格について自分のおさらいも兼ねてご紹介したいと思います。

今まではLANの通信速度は大まかに100Mbps・1000Mbps（1Gbps）・10Gbpsの通信速度規格が存在し、進化してきました。1Gbpsの1000BASE-T次は当然10Gbpsを実現する10GBASE-Tと思われてきましたが、いまだに普及は進んでいないのが実情です。これは10GBASE-Tの規格上、ケーブルやコネクタがなかなか普及価格帯まで下がることがなかったのが原因と言われています。また、10GBASE-Tの機器は発熱量が高く、高い場合は60度を超える場合もあるといわれています。

しかし、そうこう言っているうちに無線LAN（Wi-Fi）の規格は年々進化を遂げていき、現在は理論値で9.6Gbps、来年登場する規格では46Gbpsを実現できるところまで進んでいます。しかも、携帯電話も5G化が進み、実際の速度でも無線の規格の方が有線の規格を上回る速度が実現しつつあり、逆に有線LANの1000BASE-Tの速度がネットワークのボトルネックになってしまいました。

そこで、既存のLANケーブル（カテゴリ5e、カテゴリ6）のケーブル・コネクタを使用しつつ、1Gbps以上の通信速度を実現できる規格が開発されました。それが2.5GBASE-T、5GBASE-Tと呼ばれる規格です。

この規格は10GBASE-Tの信号形式はそのまま流用し、その転送スピードを10GBASE-Tより5GBASE-Tは1/2、2.5GBASE-Tは5GBASE-Tの転送スピードをさらに1/2にすることによりそれぞれ5GbE、2.5GbEの速度を実現しています。また転送スピードの緩和によりケーブルに要求させるスペックが下がったため、既存のカテゴリ5e、カテゴリ6のケーブルが使用できるようになりました。加えて両方の規格も最長100mの接続ができるようになっています。しかし、10GBASE-Tの信号形式は1000BASE-Tとは異なるため、ハブやLANアダプタについては入れ替える必要があります。

現在、市場には中上級のネットワークドライブや高速Wi-Fi機器を中心に徐々に2.5GBASE-Tや5GBASE-T対応の機器が出てきています。

今すぐ私たちの業務などにかかわることはないかと思いますが、知っておいて損はないかと思えますので、ご存じの方もいるかと思いますがご紹介させていただきました。

※文中に2.5GbEと2.5GBASE-Tの表記が混在していますが、2.5GbEは2.5ギガビット・イーサネットの略でそのネットワークが出せる通信速度、2.5GBASE-Tはその速度が出せる通信の規格と考えてもらえばいいかと思えます。

(ハートピア春江)

## LANケーブル規格

規格	転送速度	対応ケーブル	接続距離
1000BASE-T	1Gbps	カテゴリ5e	100m
2.5GBASE-T	2.5Gbps	カテゴリ5e,カテゴリ6	100m
5GBASE-T	5Gbps	カテゴリ5e,カテゴリ6	100m
10GBASE-T	10Gbps	カテゴリ6A,カテゴリ7	100m



全てが革新的 次世代ワイヤレス・インカム

**RIEDEL**

**BOLERO** WIRELESS INTERCOM

アンテナとベルトバックだけで運用できる“Standalone”バージョンと、Artistインカムシステムと統合して使用できる“Integrated”バージョンを選択可

OTARITEC オタリテック株式会社 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田3-30-16 TEL)03-6457-6021 www.otaritec.co.jp

## 『初心忘るべからず』

岩崎 証意

富山では記録的な暑さとなった今夏、皆さんの地域でも大変な夏を過ごされたことでしょう。子供のころや若いころ夏は暑ければ暑いほど嬉しくなっていたはずなのに、いつの間にやら暑さに身体が悲鳴をあげるようになってきました。振り返ればあれが熱中症だったかな？と思われることも増えてきました。水分、塩分の補給、食事、睡眠の大切さをいつも以上に思わされた夏でした。

さて、この春4月に2年間の富山県教育文化会館での勤務を終え、30数年ぶりに富山県民小劇場オルビスでのホール勤務が始まりました。思い起こせば、平成元年に学校を卒業して富山県文化振興財団に入り最初に勤務したところが、富山駅前マリエとやま7Fのオルビスでした。令和になり社会人のスタートを切った場所に戻り、初心忘るべからずで再スタートをしたところです。長い間、離れていた小ホール、舞台の初歩・基本的なことも改めて勉強し直しの日々を繰り返しています。

30年以上経つとホールを利用される方々は、初めてお会いすることが多くなってきました。それでもオープン当初から継続してご利用いただいている方々もいらっしゃいます。そんな主催者、出演者たちの姿には頭が下がるばかりです。そしてその舞台を楽しそうに見るお客様の笑顔に接すると、より自己研鑽をしなければと身が引き締まる思いでいます。

終わりに、コロナは5類になり、各イベント、ホール、劇場は以前の賑やかさを取り戻してきています。しかし、周りを見ると、家族、職場、地域でのコロナ感染者は、まだまだ終息を見ません。ここ何年も少なかったインフルエンザは秋冬に広まりを見せそうな勢いです。家族も大切な人も自分自身も心とからだの見守りが欠かせませんね。

(富山県民小劇場)



富山県民小劇場オルビス

 **YAMAHA**  
*Make Waves*



▲ Web サイト



▲ Facebook

ヤマハサウンドシステム株式会社

## 『夏の家族旅行計画』

堀 裕一

コロナが明けたらクルーズ旅行！今年の夏はクルーズ旅行！と意気込んでおりましたが、残念ながら毎年金沢発着のクルーズを運航していたコスタクルーズが、アジア地区から撤退してしまい、今夏金沢発着のクルーズは無くなってしまいました。仕方がないので横浜や神戸発着のダイヤモンドプリンセス、MSCベリッシマなどを調べてみたところ、7月20日出発「MSCベリッシマで航く 台湾・那覇 南西諸島ショートクルーズ6泊7日 - 横浜発着-」だと仕事の調整をすれば行けそうだと判明しました。クルーズ代金は最安の内側客室で99,800円から、これに港湾税+チップ+飲み物代+金沢・横浜往復料金を加えると、1人当たりの総額は約18万～20万円とかなり予算オーバーですが、3名1室だと18歳未満の娘の基本料金は無料になる点と、乗りたい気持ちが勝りました。

ここで簡単にMSCベリッシマを紹介しますと、総トン数:171,598トン、客室数2217室、最大乗客数5655人で、以前乗ったことのあるコスタネオロマンチカの2倍の規模の船です。ジャパネットで販売している日本1周のクルーズ船として知ってる方も多いのではないのでしょうか。船内設備も充実しており、日替わりでショーが楽しめる定員975席の劇場や、3種類のウォータースライダーが楽しめるアクアパークをはじめ、24時間美しい映像が映し出されている全長80mのLEDスカイドーム、レストランの数は有料・無料あわせて12もあり、イタリア船なので特にピザが美味しいそうです。初日の夕方横浜を出港して、2～3日目は終日洋上クルーズで船内アクティビティやごはんを楽しみ、4日目台湾、5日目沖縄、6日目終日クルーズ、7日目横浜着という行程です。最大級の豪華客船を楽しめるならと、清水の舞台から飛び降りるつもりで家族にプレゼンしたところ、「娘の習い事の最後の発表会の練習日程がかぶるから無理」という理由であっさり却下されてしまいました。

そんなわけで、新たに休みの予定を組み直し、8月上旬2～3泊の設定で家族旅行の希望を聞いたところ、妻の希望は、台湾、北海道、沖縄、東京、神戸。娘の希望は、東京ディズニーランド、北海道でした。台湾を調べてみましたが、夏休み期間の旅行パックは5年前に台湾に行った時よりも随分お高かったのと諦めず保留。小松-台湾便は4月からエバー航空が毎日運航してる上に、タイガーエアーも週2便運航しているので、落ち着いた頃にはきっと値下がりすると思ってます。次に北海道を調べたところ、じゃらんの航空券+ホテルパックが3泊4日で約6万円とっていたよりお安めでした。ホテルも結構いいホテルです。正直夏休み中の北海道にはお高いイメージがあり、小松-新千歳の正規片道航空運賃45670円から推察するとおひとり様10万円以上はかかるだろうと思っていたので、ちょっとびっくりしました。実際、最安航空券と同ホテル同プランで検索したところ両方合わせた料金は約10万円でしたので、航空券+ホテルパック料金のコスパの良さは最強でした。沖縄は今年娘が修学旅行で行くのでパスして、今年の家族旅行は無事北海道の旅に決まりました！私は28年ぶり2回目、妻と娘は初めての北海道です。北海道初心者らしく札幌・小樽に的を絞って旅行することにしました。札幌・小樽の観光・グルメ、宿泊先の朝食ビュッフェまでYouTubeでしっかり予習していざ北海道へ。旅行の様子は次号に続きます。

(金沢歌劇座)



## 心に響く音づくり

音響計画・コンサルタントから  
音響設計・監理・測定・運用協力

浪花千葉音響計画有限公司  
Naniwa Chiba Acoustics Inc.

〒160-0006 東京都新宿区舟町1番地13(スリーオークスビル4F)  
Phone 03-5919-1081 Fax 03-5919-2256 URL <http://www.nca.co.jp/>

## 裏方的楽器嗜好の考察～ウラカタバンドは実現可能か～

高野 仁

私もこの舞台業界に身を置いてまもなく30年を迎えます。その間、多くの業界人と仕事をともにしてきましたが、私のように吹奏楽などの楽器経験者として業界入りした方とも本当に多くいらっしゃいました。今になっても演奏活動はしたいと思っても、演奏会やライブなどのイベントやその練習日は大体土日設定されていることが多く、我々の業界の仕事の性質上土日は休めないために音楽活動を断念してきたという同業者とも多くお会いしてきました。

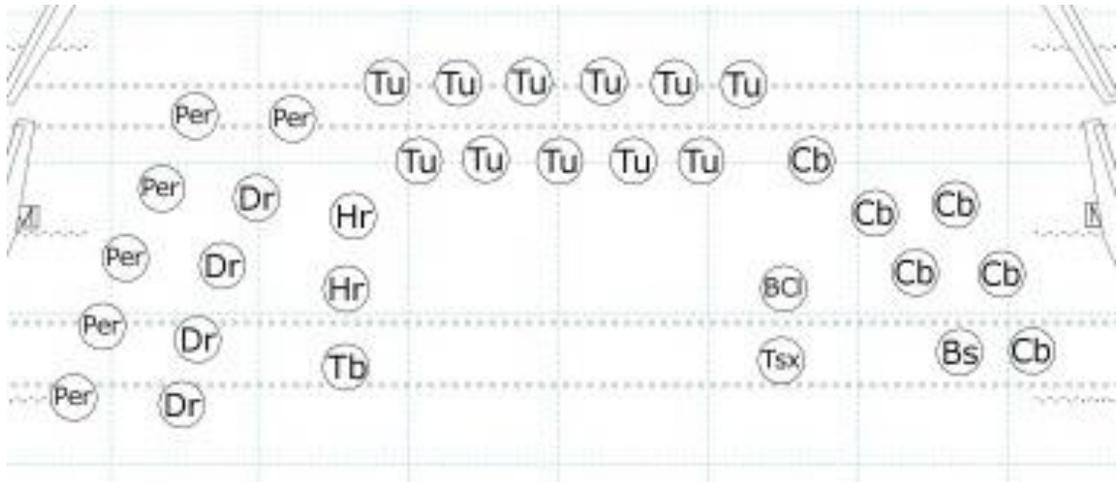
ある時、そんな方々との懇談の席で、いっそのこと裏方だけでバンドを作ったらいいんじゃないか？という話が出ました。練習日も本番日も平日にして、音響・照明・舞台の各業界からメンバーを集めて仕込みもみんな自分たちでできるじゃないか！とそれはそれは盛り上がりました。

そこで、メンバー集めに思考を巡らせたところ、ある一つの傾向に気づきました。それは「裏方の皆さんの担当楽器はほぼ低音楽器カリズム楽器」だということでした。因みに、私の知る限りの内訳は以下のとおりです。

テナーサクソ1名、トロンボーン1名、バスクラリネット1名、ホルン2名、ベース（コントラバス含む）7名、パーカッション（ドラム含む）10名、チューバ11名（私もチューバです）以上です。

あまりにも低すぎて、メロディが出来そうなのはテナーサクソかトロンボーン、ホルンくらいではないでしょうか。愕然としました。

確かに裏方でトランペットとか、アルトサクソとか、はたまたヴォーカルやギターやってみました、という方にはお会いしたことがありません。そのようないわゆる「目立つ楽器やカッコいい楽器」を好む方は裏方業界には圧倒的に少ないと思われまます。裏方は音楽の世界でも伴奏やリズムなどのウラカタ楽器を好む傾向にあるようです。



ザ・ウラカタバンド 基本配置図

しかしながら、図面を引いてみると、なんだかブリティッシュスタイルのブラスバンドみたいでかなりカッコいいです。裏方が作る、裏方のための「ザ・ウラカタバンド」重低音満載の迫力あるバンドになりそうです。裏方の楽器経験者の皆様、いつかやってみませんか？

ウラカタバンドではいわゆる「カッコいい」楽器をやっている貴重な裏方の皆様の参加を心よりお待ちしております。また、コンサートの折に我々ウラカタの代わりに裏方をしてくれる貴重な演奏家の皆様のご参加もお待ちしております。（もちろん冗談です）

(富山県教育文化会館)

感動を支える、伝統と革新

Morihei

森平舞台機構株式会社

本社 〒111-0033  
東京都台東区花川戸二丁目11番2号  
TEL(03)3842-1621 (代表)

北海道・東北・富山・名古屋・

大阪・九州・埼玉・栃木

♪♪♪♪ 編集後記 ♪♪♪♪

今年の夏は「酷暑」という言葉をよく耳にした暑い毎日でした。私の住む富山県は9月に入って朝晩はようやく涼しくなっており、ようやく趣味の家庭菜園にも出やすくなってきました。読書の秋、食欲の秋、芸術の秋。皆様はどんな秋をお過ごしになられますか？私は差し詰め「仕事の秋」になりそうです。仕事が忙しいのは、この業界ではありがたいことだと思っています。  
(高野 仁)

※重要なお知らせ

北陸支部情報誌「小音響かわらばん」は今号で誌面による発行が最後になります。次号の142号（令和5年11月発行）からは電子データによる発行となります。現在、郵送でお手元に届いている方はお手数ですが、北陸支部コンタクトフォームから小音響かわらばんの配信をお申込みください。2次元コードからも北陸支部コンタクトフォームにアクセスできます。よろしくお願ひ致します。北陸支部コンタクトフォーム  
<https://www.seas-jp.org/contact/hokuliku/>



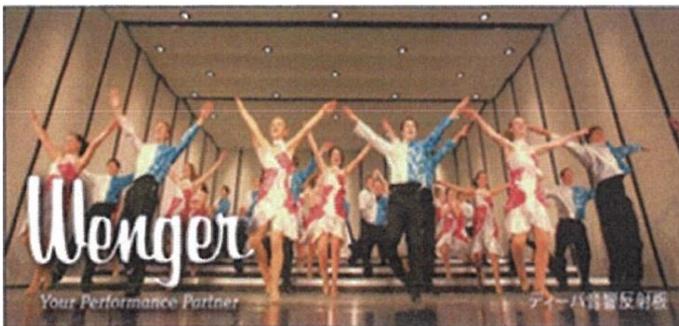
日本音響家協会本部からのお知らせ

会員の住所変更等は日本音響家協会本部のホームページの各種手続き案内のフォームから手続きを行ってください。  
①<https://www.seas-jp.org> 本部HPトップページ  
②「各種手続き案内」からフォームに入り、必要事項を入力

日本音響家協会北陸支部会員名簿

職場を異動になった人、住所が変更になった人は、事務局長までご連絡ください。(岩崎 証意 [hokuliku@seas-jp.org](mailto:hokuliku@seas-jp.org))

- |       |               |
|-------|---------------|
| 稲村由香里 | (株)金沢舞台       |
| 井関 寿一 | フリーランス        |
| 岩崎 証意 | 富山県民小劇場オルビス   |
| 浦風 昭一 | 有限会社ショー・ワン    |
| 江口 新一 | 金沢市民劇場        |
| 大野 吉信 | (株)開進堂楽器      |
| 大畑 雅之 | (株)イメージアップ    |
| 加藤 敏久 | フリーランス        |
| 川邊ちあき | (株)金沢舞台       |
| 木村純一郎 | 富山県文化振興財団     |
| 澤田 誠  | 入善コスモホール      |
| 四折 貴之 |               |
| 鹿野 浩司 | 株式会社 エスアールディ  |
| 庄田 晃  | ぱふおくる         |
| 新谷美樹夫 | L.F.I (株)     |
| 杉本 慎介 | 高岡市生涯学習センター   |
| 高木 智裕 | 富山県高岡文化ホール    |
| 高野 仁  | 富山県教育文化会館     |
| 鷹栖 了  | フリーランス        |
| 高畑 進  | (株)開進堂楽器      |
| 竹内 裕哉 | 株式会社 エスアールディ  |
| 田嶋 友亮 | 氷見市芸術文化振興財団   |
| 寺 仁   | 金沢市民芸術村       |
| 永澤 清一 | 財団法人クロスランドおやべ |
| 中川 靖夫 | 富山県文化振興財団     |
| 永原 諒  | L.F.I (株)     |
| 西 一彦  | フリーランス        |
| 西畠 理  | ハートピア春江       |
| 藤井紗綾子 | 富山県民小劇場オルビス   |
| 堀 裕一  | 金沢歌劇座         |
| 牧野 豪  | 金沢市民芸術村       |
| 水上 智之 | フリーランス        |
| 水野 文雄 | フリーランス        |
| 湊 晃   | 北日本放送         |
| 本 輝夫  | 聲音軒本舗         |
| 森山 茂  | エーブイシステム      |
| 山口 雅照 | 金沢歌劇座         |
| 山崎 武志 | フリーランス        |
| 山本 広志 | 高岡市民文化振興事業団   |
| 吉田 正勝 | フリーランス        |



エムアンドエヌはいつでも皆様の  
パフォーマンス・パートナーです

**M&N** 株式会社エムアンドエヌ  
<http://www.mnsv.co.jp>